

会 議 議 事 録 (要旨)

令和3年7月12日会議録作成

会 議 名	令和3年度第2回山梨市地域公共交通活性化協議会
日 時	令和3年7月9日(金) 10:00~11:30
場 所	山梨市役所 西館5階 501会議室
出 席 者	<p>【委員】新たに委嘱4人 出席者:(18名) 佐々木会長、深澤委員、守屋委員、篠原委員、菊島委員、原田委員、寺島委員、雨宮委員、小池委員、若尾委員、藤井委員 (代理出席:田中委員)、秋山委員、藤原委員(代理出席:山本委員)、名取委員、戸田委員、村松委員、坂倉委員、詫間委員</p> <p>欠席者:(3名) 古屋副会長、深沢委員、山下委員</p> <p>※東日本旅客鉄道(株)塩山駅長 上野宏重委員から深沢薫委員に委員変更</p> <p>【事務局】 山梨市総務課長 小田切事務局長、総務課行政担当 坂本事務次長、総務課行政担当 古屋事務員</p> <p>【傍聴人】 なし</p>
会 議 次 第	<ol style="list-style-type: none">1 開会2 会長あいさつ3 議事 (1) アンケート調査の実施について (2) 調査業務委託業者の選定方法について (3) 予算(案)について (4) 今後のスケジュールについて (5) その他4 その他5 閉会
協 議 結 果 の 要 概	<p>3 議事の議決事項</p> <p>(1) 今回の協議会での意見を基にアンケート内容の修正。その後会長と協議後、最終決定し、アンケート調査を進める。</p> <p>(2) ~ (4) が承認された。</p> <p>(5) 特になし。</p>

司会 総務課長 小田切事務局長

○1 開会 10:00

○2 会長あいさつ

本日は足元の悪い中、お集まりいただきありがとうございます。円滑な進行を務めたいと思いますので、皆さまのご協力をお願いします。

○3 議事（議長は佐々木会長）

議事（1）アンケート調査の実施について

（坂本事務次長から資料説明。）

秋山委員：ご確認です。1ページ目の山梨エリア65歳以上の9,393人と2ページ目の山梨エリア65歳以上～95歳以下の9,218人の差175人は96歳以上の人ということでしょうか。そうした時に、アンケート対象者に96歳以上は含まないと言う解釈で良いか。

事務局：その通りである。

秋山委員：山梨エリアの13歳以上～95歳以下の25,880人で年齢ごとの対象者人数比率は決めているか。

事務局：対象者人数比率は決めていない。山梨エリアの13歳以上～95歳以下の25,880人の中から2,455人を無作為に抽出する。

佐々木会長：①5,000人と言う数字はどのように決めたか。

②アンケートを1人1人に郵送するのではなく、世帯に対し郵送したらどうか。同じ郵送料を支払うのであれば、たとえば5,000世帯とした方が、より多くの対象者から回答を求めることができる。

事務局：当初は2,000人程度と考えていたが、なるべく多くの回答を得ることを考え、5,000人に増やした。アンケートの個別郵送か、世帯郵送かは再度検討する。

山本委員：今回の調査は公共交通全般の調査と認識しているが、アンケート内容を見ると、市民バスの内容がほとんどであり、タクシーの日常使いの質問が無い為、タクシーに対する設問を作ってはどうか。

菊島委員：ぜひタクシーに関する設問を作ってほしい。

事務局：タクシーの日常使いについてもアンケートに盛り込むようにする。

佐々木会長：①調査の形式について、人口比に対しバスの利用者が何パーセントいるのか。かなり利用者率が少ないとすると、アンケートの回答もほとんどの人が回答しないということが予想される。非常に効率が悪い。バスの利用内容のアンケートは、バスの利用者に直接聞いてしまった方が早い。

②先ほどのタクシーの質問についても、直接タクシーの利用者に聞いてしまったほうが効率良い。

③病院や買物等の頻度(回数)についても質問した方が良い。ほとんど行ってない人と頻繁に行っている人だと状況が違う。

④病院や買物等の行先を聞くのであれば、住まいを聞いた方が良い。居住地で「山梨・牧丘・三富」は広すぎて把握が難しい。郵便番号を記載させるのが効率的である。

⑤問 2-11 の設問は非常に難しい質問である。「市民バスを利用していない方も」とあるが、そもそもバスを利用していないので、情報が全くない中での回答は難しい。この設問を作るのであれば、現在のバスの概要資料も一緒に送付すべき。

戸田委員：アンケート結果を基に、公共交通の計画決定する前に各地域で説明会を開催してほしい。

事務局：アンケート調査をすることにより、地域ごとの課題が出てくる。その課題解決への原案を作ることは可能。課題解決の原案を決定する前に各地域に出向き説明会又は意見交換会ができるよう検討する。

詫間委員：アンケート調査（内容や対象者）の観光面で観光客（市外・県外者）への調査は実施しないのか。観光客（市外・県外者）から意見を聞くことも必要である。

事務局：実際に観光客（市外・県外者）からアンケート調査を求めることは難しい面があるが、観光事業者への意見の聞き取りは可能と考える。観光事業者へ需要や課題の聞き取りを行うようにする。

佐々木会長： 今回のアンケート内容が確定したものではないので、今回各委員に持ち帰っていただき、自分でアンケートに回答してもらい、質問意見あった場合は事務局へ連絡してもらう事でよろしいか。

事務局： 今回の意見、また後日の意見等を踏まえ、アンケート調査方法や内容を検討し修正する。

佐々木会長：修正案の決定については、再度委員の皆様が集まって協議いただく事とはせず、私（会長）と事務局で協議させていただき、最終決定とし、そのままアンケート調査を進めさせていただく事によろしいか。

※修正したアンケート内容等については後日各委員へ郵送する。

全委員：異議なし。

議事（２）調査業務委託業者の選定方法について

（坂本事務次長から資料説明。）

雨宮委員：事務局案として指名競争入札方式とのことだが、どのような業者（県内・県外）を考えているか。県内業者であれば県内の情勢を熟知しているためそういった部分を考慮することが可能となる、また、県外業者であれば公共交通のノウハウを持っている業者も多い。いろいろな面を考慮し、県内・県外どちらかに絞るのではなく、指名競争入札へ参加させた方がより良い計画策定に結びつくのではないか。

事務局：業者選定については考慮させていただく。

篠原委員：市民バスのアンケート調査は初めてか。本来であれば、アンケート調査をコンスタントに実施し、ニーズに合わせた内容に都度変更していくことが一般的であるが。

事務局：毎年、別の部局で市民アンケートとして、市政全体の設問が設けられている一部に公共交通の内容を掲載したアンケートは実施している。公共交通単独のアンケート調査は初めてに等しい。

篠原委員：公共交通のアンケートを今から実施し、情勢を把握するというのは少しテンポが遅い。これまでコンスタントにアンケート調査等を実施していれば、早い段階で、市民のニーズに合わせられているはずである。また、調査業務委託とあるが、アンケート調査を実施することだけの委託か。アンケート調査だけであれば、事務局だけで実施は可能と考えるが。

事務局：アンケートの郵送から取りまとめまでは事務局で行う。委託内容としては、アンケート調査結果の把握、バス乗込利用者アンケート、事業者聞き取り調査、骨格案の作成、計画案の作成等を業務委託する予定。

議事（３）予算（案）について

（坂本事務次長から資料説明。）

	<p>全委員：質疑応答なし。</p> <p>承認</p> <p>議事（４）今後のスケジュールについて （坂本事務次長から資料説明。）</p> <p>全委員：質疑応答なし。</p> <p>承認</p> <p>議事（５）その他</p> <p>秋山委員：山梨市民バスが市外を通っていることや、他市のコミュニティバスが山梨市内を通っていて、かつ両コミュニティバスに補助金を充てているフィーダー系路線はあるか。山梨市や他の市町村のコミュニティバスに国庫補助金を充てていて、その路線が計画に位置付けされていない場合、国庫補助金が貰えなくなる可能性が有る。留意してほしい。</p> <p>事務局：他市町村から山梨市へ乗り入れているコミュニティバスは無い。山梨市の牧丘循環線が甲州市の塩山駅まで一部乗り入れている。留意しながら進めていく。</p> <p>○４ その他</p> <p>事務局：次回の第３回山梨市地域公共交通活性化協議会は令和４年１月頃を予定している。</p> <p>○５ 閉会 １１：３０</p>
備 考	